AFC Press release

AIRPORT FACILITIES CO.,LTD.

2026 年 11 月 6 日

空港施設株式会社

中長期経営計画（FY2022-FY2028）
【見直し2025】

重点施策Ⅲ

純水素型燃料電池の実装に向けた実証プロジェクトの実施を決定

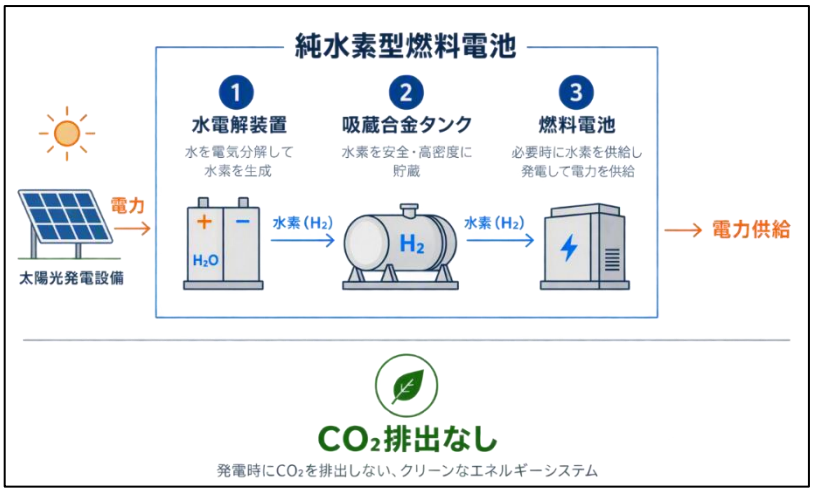
～グリーン水素活用に向けた『当社グループ初』の取り組み～

空港施設株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役社長：笹岡 修）は、羽田空港国内航空貨物ターミナル地区（以下、「国内貨物地区」という。）において、純水素型燃料電池（以下、「本装置」という。）を新たに設置し、グリーン水素※の活用可能性を検証するための実証プロジェクトを実施することを決定しましたので、お知らせいたします。なお、2027 年度の竣工および実証プロジェクト開始を予定しております。

※再生可能エネルギーを用いて製造された水素

本装置は国内貨物地区 E4 棟の太陽光発電設備で発電した電力を活用して水素を生成・貯蔵し、必要なタイミングで燃料電池により再び電力として利用するものです。

本実証プロジェクトでは、自動販売機や共用部の照明等へ電力供給を行い、システム全体の総合効率や実環境下における有効性等について検証を行います。なお、実証プロジェクト期間は 2027 年度から 2036 年度までの 10 年間を予定しており、長期的な運転データの取得を通じて設備の運用性や信頼性に関する評価を行うとともに、水素エネルギー活用に関する知見の蓄積を図ります。



純水素型燃料電池を活用したグリーン水素エネルギーシステムの概要

本取り組みは、中長期経営計画における「重点施策Ⅲ：事業領域拡大・成長投資の実行」の一環として推進する、環境事業の一つであり、当社グループ初となるグリーン水素活用に向けた実証プロジェクトです。

当社は今後も再生可能エネルギーの活用拡大や環境負荷低減に取り組むとともに、安全・安心で持続可能な空港運営を支えるインフラの提供を通じて、社会課題の解決と企業価値の向上に努めてまいります。

当社は水素エネルギーの社会実装を加速させる官民連携プロジェクトとして東京都が発足した「TOKYO H2」プロジェクトに参画しております。今後も水素エネルギーの活用に向けた取り組みを進めてまいります。

TOKYO H2

「TOKYO H2」プロジェクトロゴ

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】
空港施設株式会社経営企画部 広報・IR 担当
電話：03-3747-0953 （9：00～17：00）
※土日祝および当社休業日を除く